

令和5年度 那須議会フォーラム（田代地区）

意見に対する回答

※意見に対する回答は、常任委員会が町所管課にヒアリング等を行い、委員会の認識としたものを掲載しています。

総務産業常任委員会所管

◎代表的な意見

（選挙）

- 意見…田代地区は選挙に関心のない住民が多いのか投票率が低い。池田地区も同様であると思う。投票率については、なぜ低いのか分析をすべき。投票率の低い地区は移住者が多いという意見があるが、移住者と元からの住民とで区別すべきではない。移住者だけが投票に行かないと言っているように取れる。
- 回答…田代地区の投票率については、調査分析を行っているところで、友愛の森に期日前投票所を設置するなど改善し、今後の動向を注視していく。

（建設関係）

- 意見…りんどうラインの舗装工事は短い区間しかやらない。全体の舗装工事が終わるのには何年かかるかわからない。
- 回答…本路線に関してはR4年に600m、R5年に1100mの舗装修繕を行っている。また、毎年1億円の予算を計上しており、総務産業常任委員会としては十分な取組がなされていると評価している。
- 意見…グットニュースの信号機がある道路が走りづらい。事故防止のためにも直線にならないか。
- 回答…令和6年度以降、カーブを緩やかにする工事を進めていく。歩道についても歩行者用グリーンロードを設置する予定になっている。

◎参加者からの意見

（防災・自治会）

- 意見…大同地区の方から地域での助け合いがない。自治会の加入率が低いため災害時の対応が心配。
- 回答…災害時における自治会未加入者への情報伝達や避難誘導など危惧されるため、自治会への加入を今後も促進していきたい。

（建設関係）

○意見…サファリパークのところに消防署ができるが道路の拡張工事をして救急車が通れるようにしてほしい。

●回答…町から県に要望書を提出している。

○意見…守子の十字路に信号機を設置してほしい。

●回答…町は信号機設置の必要性を認識しているが、地権者との交渉が難航している。

○意見…以前、広谷地ダイユーの前の Y 字路で事故にあった。鋭角になっているところを緩やかにして車が曲がりやすくすれば事故はなくなるのでは。

●回答…町は危険性を認識しており、宴席を 1 つ取り除き、安全確保に向け改善を行っている。今後の状況をみて対応を検討する。

○意見…扇屋の脇の道路は狭いが交通量もある。通学路にもなっており拡幅してほしい。

●回答…那須街道の渋滞緩和につながる可能性もあり、県と協議を行っている。

○意見…サファリパークから県道 30 号線に抜ける町道の整備してほしい（穴が 50 箇所位空いている）。

●回答…今年度からの修繕工事が決定している。排水工事も同時進行する予定で、改善が見込まれる。

○意見…広谷地の渋滞を解消するためにう回路の整備と看板を設置してう回路へ誘導しては。渋滞は那須街道を片側 2 車線にしないと解決しないと思う。渋滞時には買い物に行くのにも困る。

●回答…那須街道の渋滞は以前から問題となっているものの、さまざまな支障もあり打開策が出ていない。今後も模索していく。

○意見…ビジターセンターの場所を駐車場にしてパークアンドライドにすればよいのでは。

●回答…以前、実証実験を行ったが効果は確認することができなかった。どのような方法があるか今後も検討していく。

（観光商工）

○意見…友愛の森に日帰り温泉をつくること以前から提案している。

●回答…友愛の森から各施設へ観光の広がりを創出することが目的であるため温泉導入は考えていない。

○意見…友愛の森に避難所にもなる防災館を整備し、通常はイベント等で利用できるような多目的ホールにしては。防災館の更なる充実を図ってほしい。

●回答…多目的施設としての構想はないが、防災施設として整備を行なっていく。

民生文教常任委員会所管

◎代表的な意見

（除去土壌集約関係）

原発事故に伴う除去土壌等については、町内の住宅や公共施設等の敷地内に現在も一時保管している状況です。

町は、これらの除去土壌等を1カ所に集約することで、保管者の負担解消や管理の効率化、管理体制の強化を図るため、集約候補地についての調査を進めてきました。

上記の調査結果を踏まえ、安全性、効率性、周辺環境への影響などを総合的に評価した上で、令和5年5月20日に周辺地域の住民や関係者を対象に説明会を開催しました。現在も個別に対応している状況です。

今後、国等関係者と調整を図りながら、安全で、町民の皆様に安心いただけるよう、集約事業の具体化を進め議会としても継続的に注視して参ります。

（交通関係）

急速に進む少子高齢化や人口減少への対応など、持続可能なまちづくりと一体となった公共交通体系を構築することを目的とし、「那須町地域公共交通網形成計画」を策定し、国等の支援を受けながら、デマンド型乗合交通及び那須町民バスの見直し等、地域公共交通活性化を目的とした事業を展開してきました。以上の状況を踏まえ、「暮らしやすい那須町」の実現に向け、地域の交通資源の活用、持続可能性、まちづくりとの連携等に留意した「地域公共交通計画」を策定し、引き続き国等の支援を受けながら、地域公共交通活性化を目的とした事業展開を進めて参ります。

また、令和5年10月から令和6年9月まで、特定の地域にお住まいの方のご自宅と指定目的地間のタクシー料金が定額になる「那須町定額タクシーサービス」の実証運行を実施しています。

（景観）

本町の豊富な景観資源の保全を目的として、快適な生活環境を次世代に継承していくことで『那須町景観計画』が策定されました。さらなる適正な指導と管理を推進するため、那須町景観計画及び那須町景観条例の一部を改正し、工作物の定義のなかに「太陽光発電施設」を追加いたしました。

また、良好な景観の形成が特に必要とされる景観形成重点地区内については、太陽光発電施設に関する個別の景観形成基準を設けております。

議会としても町の動向を注視してまいります。

◎参加者からの主な意見

○意見…敬老会のあり方を地区社協に任されているので、記念品を社協に加入していない人にも配っているのか悩むところで、今年からは地域の方全員に配る方向で考えています。町から指示されたほうが悩まない。

●回答…敬老会の開催可否や記念品等の配布については、地区社会福祉協議会 ごとに実施方針を一任しています。地区ごとに実施状況が異なりますので、今後、敬老会自体のあり方も町と協議して参ります。

○意見…旧大同保育園でグラウンドゴルフをやっているが水道が使えないため自宅から水を持ってきている。何とかありませんか。

●回答…旧大同保育園の跡地の利用に伴いグラウンドゴルフで水道の利用が出来るよう申入れを致しました。

○意見…役場周辺の魅力づくりをしてほしい。カフェや図書館も寄って見たいと思える企画等を考えてほしい。

●回答…町は、「第二次まち・ひと・しごと総合戦略」のなか黒田原駅前の活性化に取り組んでいます。旧立正佼成会跡地（黒田原まちなか広場）の活性化に取り組むと共に、魅力づくりの為の企画を提案して参ります。